

開港 150 周年事業推進特別委員会資料

平成 20 年 7 月 11 日

開港 150 周年創造都市事業本部

## 横浜トリエンナーレ 2008 について

## (1) 概要

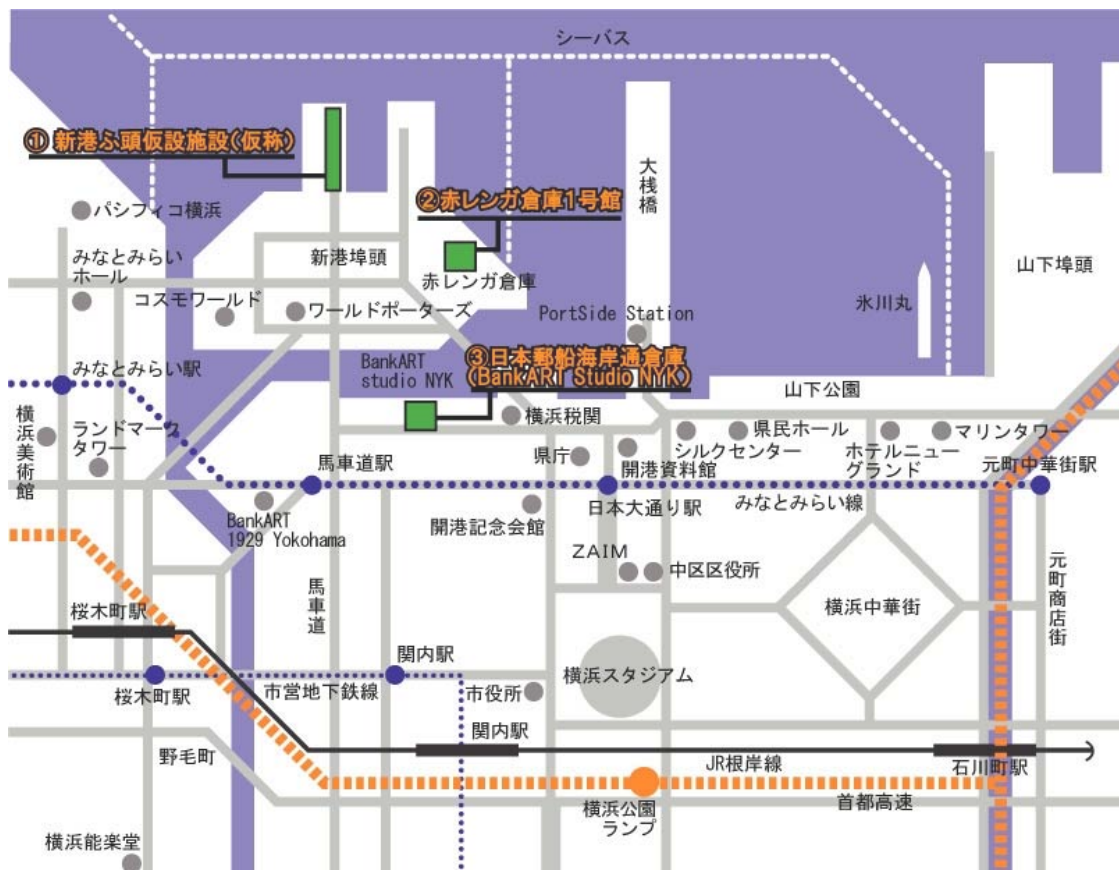
横浜トリエンナーレとは、3年に1回開催される現代美術の国際展覧会です。

全体テーマ「TIME CREVASSE (タイムクレヴァス)」(ときの裂け目)のもと、最先端の現代美術を展示します。

【名称】 横浜トリエンナーレ 2008

【会期】 2008年9月13日(土)～11月30日(日)(79日間)  
午前10時から午後6時まで(入場は午後5時まで)

【会場】 メイン会場：新港ピア、横浜赤レンガ倉庫1号館、日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK)  
その他の会場：三溪園、大さん橋国際客船ターミナル、ランドマークプラザ、横浜中華街(予定)など



(メイン3会場図)

裏面：概要続き及び(2)現在の取組状況について

【テーマ】「TIME CREVASSE (タイムクレヴァス)」(ときの裂け目)

【総合ディレクター】水沢勉(神奈川県立近代美術館企画課長)

【キュレーター(ディレクターと共同して展覧会の企画構成を行う専門家)】

| 名前              | 肩書                                |
|-----------------|-----------------------------------|
| ダニエル・バーンバウム     | フランクフルト市立美術大学学長、ポルティクスディレクター      |
| フー・ファン          | ビタミン・クリエイティブ・スペース アーティスティックディレクター |
| 三宅暁子            | 現代美術センターCGA 北九州 プログラムディレクター       |
| ハンス・ウルリッヒ・オブリスト | サーペンタインギャラリー展覧会プログラム共同ディレクター      |
| ベアトリクス・ルフ       | クンストハレ・チューリッヒ ディレクター              |

【チケット料金】中学生以下無料 チケットは2日間有効(連続しない日も可)

| 区分       | 当日券    | 前売券    | 団体券    |
|----------|--------|--------|--------|
| 一般       | 1,800円 | 1,600円 | 1,500円 |
| 大学・専門学校生 | 1,300円 | 1,100円 | 1,000円 |
| 高校生      | 700円   | 500円   | 400円   |

7月1日より前売券販売開始

## (2) 現在の取組状況について

### (1) 全参加作家の決定

- ・世界26カ国・地域から、71人の第一線で活躍するアーティストが参加
- ・作品特徴：大型のインスタレーション、映像をはじめとする多様な作品展示、参加アーティストによるパフォーマンス実施など

### (2) 市民・ボランティア等との協働

- ・市民・NPOとの協働による支援イベントなどの実施
- ・展覧会を支えるボランティアの募集を開始(※現在、1,200名を越える方々からの応募を受付)。主な活動内容は、会場運営、教育プログラムなど。

### (3) 「区民デー」の実施

- ・各区ごとに設定した「区民デー」に、来場した当該区民の方へ再来場券をプレゼント
- ・当日の鑑賞ガイドツアーへの優先的参加受付

# 横浜トリエンナーレ 2008

## YOKOHAMA TRIENNALE TIME CREVASSE

### 9/13 - 11/30



- 〔メイン会場〕
- 1 新港ピア
  - 2 日本郵船海岸通倉庫 (BankART Studio NYK)
  - 3 横浜赤レンガ倉庫1号館

- 〔その他の会場〕
- 4 三溪園 (地図外)
  - 5 大さん橋国際客船ターミナル
  - 6 ランドマークプラザ (展示期間: 8/1 - 10/26)
  - 7 横浜中華街 (予定)

※その他の会場については、会期・会場時間・アクセスがそれぞれ異なります。詳細については横浜トリエンナーレHP、あるいはメイン会場で配布するマップをご覧ください。

〔インフォメーションセンター「イエノイエ」〕



設計: 平田 晃久

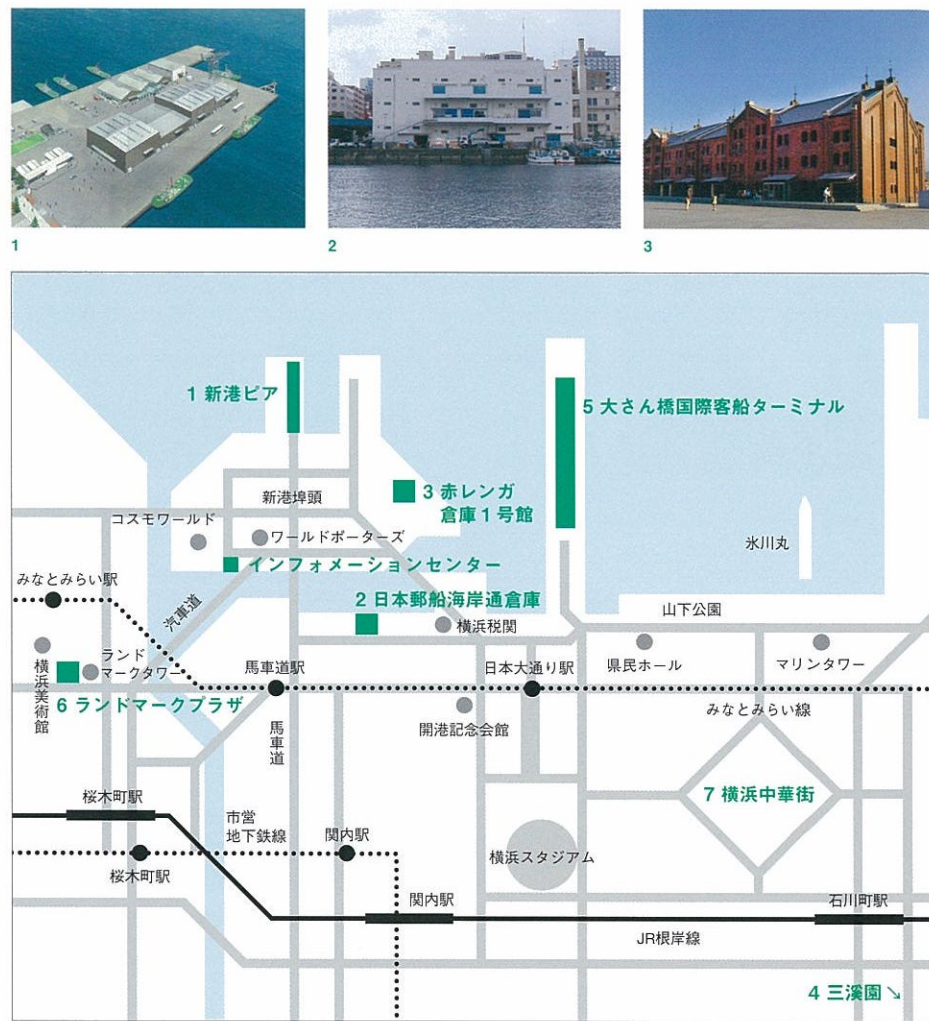
〔特別展示 H BOX〕

キュレーター: ベンジャミン・ウェイル / 建築: ディディエ・フィウツァ・ファステイノ / 参加作家: アリス・アンダーソン、ヤエル・バルタナ、スーメイ・ツェほか / 企画制作: エルメス



(地図5)

ボンビドウ・センターでの展示風景  
Photo: Marc Domage



会 期: 2008年9月13日(土) - 11月30日(日) 会期中無休

開場時間: 午前10時 - 午後6時 (入場は午後5時まで)

主 催: 国際交流基金、横浜市、NHK、朝日新聞社、横浜トリエンナーレ組織委員会

後 援: 外務省、文化庁、神奈川県、神奈川新聞社

特別協賛: 大和ハウス工業株式会社

協 賛: Bloomberg 森ビル株式会社 SHI/EIDO DNP 大日本印刷  
キリンホールディングス株式会社 ITOKI SOTETSU inef  
コスモ石油 東急グループ 東京ビジネスサービス(株)  
日本郵船 パシフィックホールディングス株式会社 株式会社ワコール  
(株)サカタのタネ、タカナシ乳業(株)、馬淵建設(株)、横浜銀行、横浜信用金庫

助 成: 野村国際文化財団 ifa Institut für Auslandsbeziehungen e.V.  
グレートブリテン・ササカワ財団

協 力: JINAX (株) インターナショナルクリエイティブ JAL BEAMS

お問い合わせ: ハローダイヤル

03-5777-8600 / 050-5541-8600 (日本語・8:00 ~ 22:00)  
03-5405-8686 (English・9:00 ~ 18:00)

交通案内:

○みなとみらい線「馬車道駅」(6番出口)より  
新港ピア(徒歩13分)、横浜赤レンガ倉庫1号館(徒歩6分)、日本郵船海岸通倉庫(徒歩3分)

○JR・市営地下鉄「桜木町駅」より  
横浜赤レンガ倉庫1号館(汽車道経由で徒歩15分)  
※会期中は、メイン3会場巡回無料シャトルバスを運行

入場料金:

|     | 当日券    | 前売券    | 団体券    |
|-----|--------|--------|--------|
| 一般  | 1,800円 | 1,600円 | 1,500円 |
| 大学生 | 1,300円 | 1,100円 | 1,000円 |
| 高校生 | 700円   | 500円   | 400円   |

○チケットは、会期中2日間有効です(連続しない日も可)。○中学生以下は無料です。○団体は20人以上です。○障がい者手帳をご持参の方とその介護者1名の方は無料です。○払い戻しはできません。○前売券は2008年7月1日(火)から、チケットぴあ、ファミリーマート、サークルK・サンクス(以上、Pコード688-245)、ローソンチケット(Lコード31310)、セブンイレブン、JTB、横浜美術館ほか各プレイガイドで発売(9月13日以降は当日料金で発売します)。

[www.yokohamatriennale.jp](http://www.yokohamatriennale.jp)

#### 特別チケットパック好評発売中!

横浜トリエンナーレを楽しむグッズがパックになりました。

当日券引換券、ガイドブック引換券  
ショップ・カフェ割引券(500円)  
トートバッグ、ノート

ミュージアムショップ等で発売中。  
なくなり次第、販売終了となります。



4大特典付 3,000円 限定5000セット

#### ボランティアスタッフ募集

横浜トリエンナーレ2008の運営を支えるボランティアスタッフを募集しております。主な活動内容は会場運営スタッフ、関連プログラムスタッフ、事務局スタッフ、教育プログラムスタッフ、展示スタッフ。詳しくは、横浜トリエンナーレ2008ホームページをご覧ください。

お問い合わせ: 横浜トリエンナーレ組織委員会ボランティア係  
(横浜市開港150周年・創造都市事業本部創造都市推進課内)  
Tel: 045-671-3503 Fax: 045-663-9212 Eメール: vol@yokohamatriennale.jp



# 今秋、世界のアーティストが横浜へ集います

港町ヨコハマを舞台に、日本最大級の現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」が、この秋いよいよ開幕します。第3回展となる今回は、横浜港の新港頭頭に新設される「新港ピア」会場を中心に、日本郵船海岸通倉庫（BankART Studio NYK）、赤レンガ倉庫1号館のほか、三溪園や大さん橋国際客船ターミナル、ランドマークプラザなど、横浜を代表するスポットにも会場を拡げ、79日間にわたってアートの祭典が繰り広げられます。

展覧会のテーマは「TIME CREVASSE タイムクレヴァス」。情報過多な日常の時間に流されることなく、時間の淵にたたずみ、その裂け目（クレヴァス）を覗き込むスリリングな体験の場を提示したいという構想のもと、26カ国・地域より71人のアーティストが参加します。大型のインスタレーションや映像作品をはじめ、多様な作品が展示される一方、パフォーマンスが数多く組み込まれているのが「横浜トリエンナーレ2008」の大きな特徴です。横浜へ来てはじめて体感できる、世界の第一線で活躍するアーティストたちの作品に、どうぞご期待ください。

また、展覧会に合わせて、レクチャー・シリーズやサウンド・コンサート、シンポジウムのほか、ギャラリートーク、ワークショップなどの交流イベントも会期中を通じて開催いたします。

## Artists 参加作家

**Marina Abramović**  
マリナ・アブラモヴィッチ (旧ユーゴスラビア)

**Arakawa Ei with Mukai Mari**  
荒川 暎 と 向井 麻理 (日本)

**John M. Armleder**  
ジョン・M. アームレーダー (スイス)

**Matthew Barney**  
マシュー・バーニー (米国)

**Jérôme Bel**  
ジェローム・ベル (フランス)

**Ulla von Brandenburg**  
ウラ・フォン・ブランデンブルク (ドイツ)

**Cao Fei**  
ツァオ・フェイ / 曹斐 (中国)

**Paul Chan**  
ポール・チャン (中国)

**chelfitsh (Okada Toshiki)**  
チェルフイツシュ (岡田 利規) (日本)

**Cho Minsuk and Joseph Grima with Storefront Team**  
チョウ・ミンスク と ジョセフ・グリマ & ストアフロント・チーム (韓国+米国)

**Nikhil Chopra**  
ニキル・チョプラ (インド)

**Tony Conrad**  
トニー・コンラッド (米国)

**Keren Cytter**  
ケレン・シタール (イスラエル)

**Trisha Donnelly**  
トリシャ・ドネリー (米国)

**Elmgreen & Dragset**  
エルムグリーン & ドラッグセット (デンマーク+ノルウェー)

**Peter Fischli & David Weiss**  
ペーター・フィッシュリ & ダヴィッド・ヴァイス (スイス)

**Didier Fúza Faustino**  
ディディエ・フィウツァ・ファスティノ (ポルトガル)

**Luke Fowler and Tsunoda Toshiya**  
ルーク・ファウラー と 角田俊也 (英国+日本)

**Mario García Torres**  
マリオ・ガルシア・トレス (メキシコ)

**Douglas Gordon**  
ダグラス・ゴードン (英国)

**Rodney Graham**  
ロドニー・グラハム (カナダ)

**Shilpa Gupta**  
シルパ・グプタ (インド)

**Haino Keiji**  
灰野 敬二 (日本)

**Sharon Hayes**  
シャロン・ヘイズ (米国)

**Christian Holstad**  
クリスチャン・ホルスタッド (米国)

**Cameron Jamie**  
キャメロン・ジェイミー (米国)

**Kuswidananto a.k.a. Jompet**  
クスイダナン ト・ジョンベット (インドネシア)

**Joan Jonas**  
ジョン・ジョナス (米国)

**Miranda July**  
ミランダ・ジュライ (米国)

**Mike Kelly**  
マイク・ケリー (米国)

**Hassan Khan**  
ハッサン・カーン (エジプト)

**Pichet Klunchun**  
ピチエ・クランチェン (タイ)

**Terence Koh**  
テレンス・コー (中国)

**Kosugi Takehisa**  
小杉 武久 (日本)

**Mark Leckey**  
マーク・レッキー (英国)

**Tim Lee**  
ティム・リー (韓国)

**Renata Lucas**  
レナータ・ルーカス (ブラジル)

**Jorge Macchi and Edgardo Rudnitzky**  
ホルヘ・マキ と エドガルド・ルドニツキー (アルゼンチン)

**Gustav Metzger**  
グスタフ・メッツガー (英国)

**Naito Rei**  
内藤 礼 (日本)

**Nakanishi Natsuyuki**  
中西 夏之 (日本)

**Nakaya Fujiko**  
中谷 芙二子 (日本)

**Hermann Nitsch**  
ヘルマン・ニツチ (オーストリア)

**Ohmaki Shinji**  
大巻 伸嗣 (日本)

**Ono Yoko**  
オノ・ヨーコ (日本)

**Pak Sheung Chuen**  
パク・シュウン・チュエン / 白雙全 (中国)

**Philippe Parreno**  
フィリップ・パレノ (フランス)

**Falke Pisano**  
ファルケ・ピサノ (オランダ)

**Michelangelo Pistoletto**  
ミケランジェロ・ピストレット (イタリア)

**Mathias Poledna**  
マティアス・ポレドナ (オーストリア)

**Stephen Prina**  
スティーヴン・プリナ (米国)

**Nick Relph & Oliver Payne**  
ニック・レルフ & オリバー・ペイン (英国)

**Pedro Reyes**  
ペドロ・レイエス (メキシコ)

**Jimmy Robert**  
ジミー・ロベール (フランス領グアドループ)

**Sasamoto Aki**  
笹本 晃 (日本)

**Tino Sehgal**  
ティノ・セーガル (英国)

**Tanaka Min**  
田中 湊 (日本)

**Teshigawara Saburo**  
勲使川原 三郎 (日本)

**Rirkrit Tiravanija**  
リクリット・ティラヴァニヤ (タイ)

**Tsui Kuang-Yu**  
ツイ・クワンユ / 崔廣宇 (台湾)

**Danh Vo**  
ダン・フォー (ベトナム)

**Tris Vonna-Michell**  
トリス・ヴォナニッシュ (英国)

**Claude Wampler**  
クロード・ワンブラー (米国)

**Cerith Wyn Evans**  
ケリス・ウィン・エヴァンス (英国)

アルファベット順、カッコ内は出身国・地域

## Artistic Director 総合ディレクター

Mizusawa Tsutomu 水沢 勉 (神奈川県立近代美術館 企画課長)

## Curators キュレーター

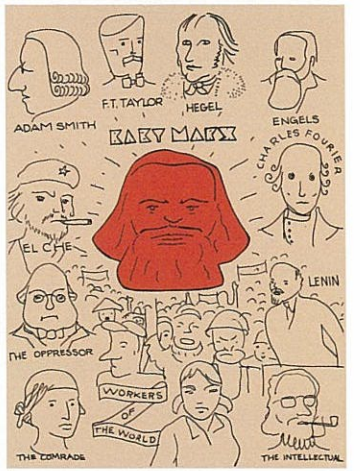
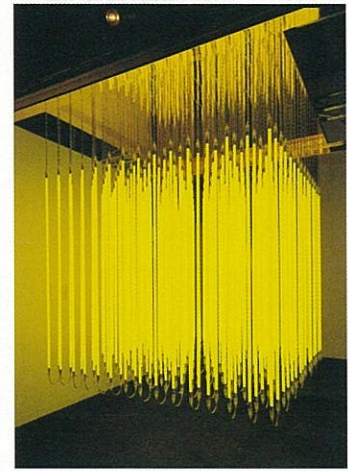
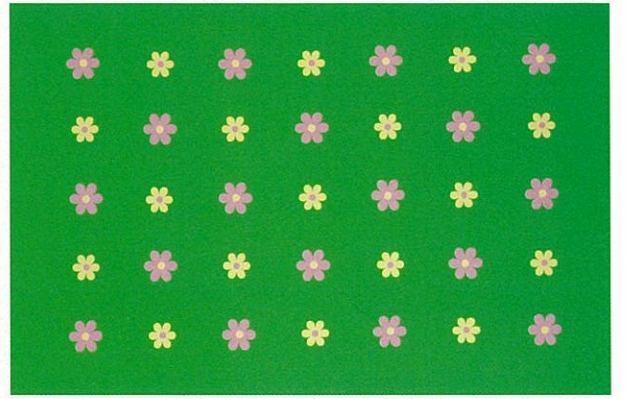
Daniel Birnbaum ダニエル・バーンバウム (フランクフルト市立美術大学学長、ホルティクス ディレクター)

Hu Fang フー・ファン (ビタミン・クリエイティブ・スペース アーティストティック・ディレクター)

Miyake Akiko 三宅 暁子 (現代美術センター CCA 北九州 プログラム・ディレクター)

HansUlrich Obrist ハンス・ウルリッヒ・オブリスト (サーペンタイン・ギャラリー展覧会プログラム共同ディレクター、国際プロジェクト担当ディレクター)

Beatrix Ruf ベアトリクス・ルフ (クンストハレ・チューリッヒ ディレクター)



表紙：ペーター・フィッシュリ & ダヴィッド・ヴァイス Peter Fischli & David Weiss (Parts of a Film with a Rat and a Bear) 2008, Video HDV and two dolls each approx. 70cm, © Peter Fischli David Weiss, courtesy Galerie Eva Presenhuber, Zürich; Matthew Marks Gallery, New York; Monika Sprüth Philomene Magers, Cologne/Munich/London 1. 中谷 芙二子 Nakaya Fujiko (FOGGY FOREST) 1992, Children's Park, Showa Kinen Park (Structure Design: Kitagawara+LCD) Tachikawa, photo: © Ogawa Shigeo 2. 勲使川原 三郎 Teshigawara Saburo (Fragments of Time) 2008, photo: Bengt Wanselius 3. エルムグリーン & ドラッグセット Elmgreen & Dragset (Catch Me Should I Fall) 2008 4. 大巻 伸嗣 Ohmaki Shinji (ECHOES – INFINITY) 2005, photo: Watabe Ryoji, courtesy Shiseido Gallery, Tokyo 5. 内藤 礼 Naito Rei (tama/anima) 2006 Sakushima, Aichi, photo: Hatakeyama Naoya, courtesy Gallery Koyanagi, Tokyo 6. ジョン・M. アームレーダー John M. Armleder (Sylvite) 2004 7. ツァオ・フェイ Cao Fei (PRD Anti-Heroes) 2005 8. テレンス・コー Terence Koh (Untitled (Lights)) 2006, courtesy Peres Projects, Los Angeles Berlin 9. ペドロ・レイエス Pedro Reyes (Drawing for Baby Marx) 2008 10. ミランダ・ジュライ Miranda July (The Swan Tool) 2001, photo: Harrell Fletcher 11. チョウ・ミンスク & ジョセフ・グリマ & ストアフロント・チーム Cho Minsuk and Joseph Grima with Storefront Team (Ring Dome (Milano)) 2008 12. マシュー・バーニー Matthew Barney (Matthew Barney and Jonathan Bepler "Guardian of the Veil") 2007, photo: Hugo Glendinning, © Matthew Barney 2007, courtesy Gladstone Gallery, New York